

芳文庫の彫刻と 菊地隆知の版画展



菊地隆知《長井の山》1988



菊地隆知《長谷寺（廻廊への道）》1972



菊地隆知《過疎の家》1975



菊地隆知《最上川 A》1996



朝倉 響子
《マリ》1984



オーギュスト・ロダン
《接吻》1886



エミリオ・グレコ
《夏の思い出(首)》1979



佐藤 忠良
《道東の四季—夏》
1976

2024 **11/21** [木] — 2025 **1/13** [月・祝]

休館日 ▶ 月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

会場

白鷹町文化交流センターAYu:M
ギャラリー&交流回廊

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地

観覧料

一般個人 **200円** / 高校生以下無料

※あゆーむ年間パスポート提示で無料 ※生徒手帳をご提示ください

開館
時間

9:00—19:00

※1月は17:00まで

協力・写真提供 | 長井市

後援 | 白鷹町、白鷹町教育委員会

主催・問合せ

あゆーむ
白鷹町文化交流センターAYu:M
TEL.0238-85-9071

● 菊地隆知プロフィール

昭和5年(1930)長井市に生まれる。中学校教師時代に頭部に円盤が当たり大怪我を負う。この頃平塚運一『創作版画の技法と研究』に出会う。昭和31年(1956)第24回日本版画協会展に初出品し入選する(以後3回連続入選)。以降、板画院創設者棟方志功氏との交遊始まる。昭和36年(1961)、以前の怪我がもとで福島医大病院で手術。以後右半身不自由の身となる。

以後様々な病気・苦難に見舞われる。心臓の持病があり心筋梗塞で7か月入院(1981)、脳梗塞で入院(2006)、これらの苦難にもかかわらず、木版画制作を左手一本で、下絵・彫り・摺りの全部を一人で行う。

平塚運一氏に師事し、日本板画院で活躍。平成5年(1993)日本板画院審査委員長。長年同院の理事・評議員として活躍。日本板画院棟方志功賞受賞、県美展委嘱、斎藤茂吉文化賞受賞、県美連名誉会員、山形児童文化会議同人、また俳人としても活躍。長井市の文化的町おこしについても多大な貢献をした。平成30年(2018)逝去。

● 芳文庫ギャラリーについて

かつて長井市を中心に近隣の印刷業を一手に担っていた芳文社の代表故・加藤嘉志朗氏(平成26年逝去)が、昭和54年8月に会社創立85周年を記念して敷地内に「芳文庫」名の「印刷を通して明治から昭和の地域経済や文化の変遷を知りうる」常設の資料館を作ります。併せて無料の文化情報誌「芳文」を月刊で発行します。

一方で熱心な美術愛好家でもあった氏は、近代彫刻を中心とした優れたコレクターでもありました。約80点に及ぶ彫刻作品のコレクションは、氏の旧宅を改修した「芳文庫ギャラリー」に展示されますが、平成27年にご遺族からギャラリーとともに長井市に寄贈されました。

この展覧会の一方の構成を担う版画家の菊地隆知氏は、月刊「芳文」発行の加藤氏と同級生であり、創刊号から表紙絵を依頼され、その大半の発行分の表紙を同氏の版画が飾りました。

会期中のイベント

梅津 碧 ニューイヤー ソプラノ・リサイタル

日時 2025年1月12日(日)
14:00開演(13:30開場)
会場 白鷹町文化交流センター AYu:M
ホール
出演 梅津 碧(ソプラノ)、
齋藤 友佳(ピアノ)
入場料 一般3,000円、高校生以下2,000円
(当日500円増し)
※未就学児入場不可
※あゆーむパスポート提示で
当日500円返金
※チケット11月中旬頃発売予定
主催・問合せ 白鷹町文化交流センター

AYu:M 年間パスポート

半年会費 1,000^(税込)で3つの特典

- 特典1** 観覧料200円のギャラリー展示は無料(適用回数無制限)
- 特典2** 観覧料201円以上のギャラリー展示は200円引き(団体割引との併用は不可)
- 特典3** あゆーむホールの有料イベントはチケット料金を500円引き
(会場での本パスポート提示により500円を返金)

あゆーむまでお申し込みください

- ※有効期限:本年10月1日~翌年3月31日
- ※パスポート登録者本人のみ有効
- ※あゆーむが主催あるいは共催する事業に限ります
- ※あゆーむカレッジの事業(うたごえ喫茶・アートキッズ団など)は適用外です

アクセス



白鷹町文化交流センター AYu:M

- [車] 山形市より国道348号線約35分
- [電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分
- [お問合せ] 0238-85-9071